



レース鳩の最高賞

令和4年度日本エースピジョン賞

全国
1位

21PE02139 “スピキュール・エース”
BC ♀ 井川義春鳩舎作出
白井俊也鳩舎使翔

22年春愛知静岡連盟Rg 1,738羽中総合23位 入賞率:0.01323
愛知静岡連盟地区N887羽中総合3位 入賞率:0.00338
愛知静岡連盟桜花賞 60羽中総合優勝 入賞率:0.01667

合計入賞率 | **0.03328**

生まれ

生年月日…… 21年4月3日
順番…… 1番仔

鳩体

- ・大きさ …… 中
- ・体型 …… 長い
- ・主翼の形状 …… キレあり
- ・腰の厚み …… 薄い
- ・筋肉 …… 柔らかい
- ・ベスト時の重さ …… 軽い
- ・眼 …… 柿
- ・バランス …… 中間
- ・性格 …… 神経質

作出の意図

- ・距離適性 …… 1000K
- ・展開 …… 分速1200
～1300m台
- ・タイプ …… 安定型



*令和4年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟1位 全兄弟/22年春100K優勝

- “シビル1998” 20SB01998 BCP 桑原次郎 作
 - 08PB05710 BC 遠藤宝 作翔
 - 09年静岡東連盟桜花賞総合9位
 - 08年東日本CH1100K連盟優勝(*“中野400”の直系)の直仔孫/21年GP連盟優勝
- “クィーン・シビル” 17SB06362 B 桑原 作翔
 - 三重連盟AP賞1位、銘鳩賞
 - 三重連盟地区N総合2位、600K総合3位
 - 東海ブロック連盟GP連盟6位
 - 「350×4006」(*ナンバー系)近親×“ハイカラー”の孫
- 17PE04693 BC 岡田辰一作 孫/400K2位
 - 「ホフケンス85”×“H.V.R.15”の近親
 - “SPM.レジョナルキング.10s”
 - 09PE02273 BC 岡田 作翔
 - 10年春愛知静岡連盟中条Rg総合優勝
 - “デン・プールジュ”(*下記“カニバル”の全兄)の孫×
00年日本AP賞全国6位“SPM.スーパーレディ”の異母妹
 - “SPM.レジョナルセカンド.14s”
 - 13PE08284 B 岡田 作翔
 - 14年愛知静岡連盟村上Rg総合2位
 - 父/ヤンセンの“シャンテリー”異父弟×
 (“カニバル”の直仔×“ランボー”の娘)

ン賞全国1位の 岡連盟・東愛知連合会)



24年ぶりに「日本のレース鳩」が誕生——！

ジョン賞(*以下日本AP賞)を輩出し、うち2羽の全国1位鳩(*92年、98年)を世に送り出すなど、和4年度である22年、同連盟から8年ぶりに受賞鳩が誕生した。白井俊也鳩舎(東愛知)使翔で輝いた。ここに“エースピジョン王国”復活——！！

エースピジョン王国復活！

70年代後半から90年代初頭にかけて日本鳩レース界の隆盛期を支えた笹川良一氏が辞任した92年、森田浩光氏が会長に就任した。その「新時代の象徴」として設立されたのが「日本AP賞」である。

対象レースは、Rg(公称4000K以上)、地区N(公称6000K以上)、桜花賞(公称8000K以上)あるいはGN(公称10000K以上)の3つだ。授賞範囲は「10」で、3レースの合計入賞率の低い順番からランキングされる。「会長賞」と「ベルギー王立愛鳩家協会会長賞」を合わせた内容に加え、Rgと地区Nは「5%内」、桜花賞あるいはGNは「10%内」という規程もあり。「距離適性」血統とするブラッドスポーツ——鳩レースの概念を覆すこのタイトルは、オールラウンドに強いという「究極のレース鳩」を追求したものだ。ゆえに日本AP賞は「レース鳩の最高賞」として過言ではない。

毎年、約10万羽がこの賞レースに参加しているものの、入賞率決戦までコマを進めることができるのは20羽に満たず。時にはベストテンすら揃わないことさえある。令和4年度は15羽が規程をクリアし、ボーダーは12%台。見事、全国1位に輝いたのは、規程3レース全て自鳩舎トップで帰還し、Rg、桜花賞を1%台、地区Nを1%内に



使翔者・白井俊也鳩舎(東愛知)のプロフィール

- ★レース歴/15年
- ★鳩舎規模/種鳩4坪100羽・選手鳩3坪150羽
- ★主力系統/ホフケンス系、ブリュッヘマン兄弟系
- ★代表翔歴/地区N、桜花賞各総合優勝、GP連盟優勝

入賞率を抑え、合計「0.03328」をマークした白井俊也鳩舎(東愛知)の「21PE02139」だ。同鳩舎が所属する愛知静岡連盟は、これまで25羽の日本AP賞を輩出してきた、いわば「エースピジョン王国」とはいえ、ここ数年は受賞鳩に恵まれず、ベストテン入りは実に8年ぶりである。なおかつ全国1位にいたっては、98年の芙蓉口フト(東三河)以来、24年ぶりの快挙！白井鳩舎の全国デビュー、かつ団体としての復活劇は、華々しいものとなった。

作出者がかつての古豪！

受賞者の白井俊也鳩舎は、00年代中盤より鳩レースをスタート。30年、40年キャリアもさざらではない今業界からすると「新鋭」の部類だ。同鳩舎は子供の頃に飼育経験があるものの、レース自

体は未経験で、ゆえに満を持してのデビューであったようだ。再開へと手招きしてくれた幼馴染の高取三郎鳩舎の縁で、連盟長の白井行弘鳩舎(東愛知)や地元の強豪・吉田三男鳩舎(東愛知)らから知識や技術を吸収し、メキメキと成長。今では強豪鳩舎の1人に数えられるほどである。

今年さらなる切れ味を追求するべく、前述の諸先輩たちから得た英知——給餌面でメリハリをつける形での調整を採用。するとGPでは連覇制覇。桜花賞でも勝ち星を挙げ、2連勝を成し遂げた。そして後者の覇者こそ、今年の日本のレース鳩「21PE02139」というわけである。

ヒロインの作出者は白井鳩舎ではない。迷い鳩がきっかけで交流が始まった井川義春鳩舎(ニュー愛知)だ。同鳩舎は、70年の稚内GNで帰還させ、当時、白井鳩舎や吉田鳩舎と同じく注目を浴

令和4年度 日本エースピジョ 使翔者・白井俊也鳩舎(愛知静)

エースピジョン王国・愛知静岡連盟から史上3羽目&

愛知静岡連盟は、9年連続受賞を含め設立(*92年)から21年にかけて25羽の日本エースピ
言わずと知れた「エースピジョン王国」である。15年以降の受賞は見られなかったものの、令
あるその「21PE02139」は、見事全国ナンバーワンの入賞率をマーク。“日本一のレース鳩”に

びた古豪である。30年以上、鳩飼育を
中断した後、17年に再開するも鹵車が
かみ合わないのか、鳴かず飛ばす…。そ
こで自身、鳩両方の性能検定を兼ねて、
昨年から10羽前後、飛ばし屋である白
井鳩舎に預けているようだ。

うち「日本一のレース鳩」となった「21
PE02139」は、父親が桑原次郎鳩
舎(三重第三)の作出鳩。銘鳩賞、連盟A
P賞1位の二冠鳩グイン・シビルの
直仔である。系統的には三重県の万能
筋「ナンバー系」のアタリ配合「350×
4006」と絵鳩春雄鳩舎作の「絵鳩へ
ンシル」の因子が強い。また今年、ニュー
近畿連盟で史上初の余市GN並日「総
合ワンツ」を体現した外川清明鳩舎
(滋賀)のゴールデンカップル「99XA
8606×ハイカラー」も絡んでいる
他、スケールレンスの「グシヨナルI」、ま
た遠藤宝鳩舎作の「08PB05710」
を経由して、中野鑑司鳩舎の「中野40
0」と横地スピード系の「バズーカ」、
「デーレン」といった日本国内の長距離
レースで実績高き銘鳩群の血が流れて
いる。

母親は岡田辰一鳩舎(ニュー愛知)の
作出で同鳩舎の「R8総合優勝×総合
2位」の交配で作られたトリだ。系統で
見ると、ファンダイクの源鳩「ランボー
(*カニバル)」、デン・ポールジュ
の父」と同鳩舎のオリジナルライン「S
PM系の基礎カップル」。「ゴフケン
ス85(*ホフケンス系)×H.V.R.
15(*ファンリール系)」のインブリー

ドといったところである。

作出から調整法まで 連盟の英知が集約!

結果的にハイブリッド的な交配パ
ターンであるものの、井川鳩舎曰く、地
元の強豪にして00年に「日本最優秀鳩
舎賞」、09年に「総理大臣賞全国優勝」を
射止めたジーニアス小林晴夫鳩舎(愛
知三州)が本業*養豚からレース鳩に
応用していた配合式を採用したよう
だ。それは3種類の豚を掛け合わせる
「三元交配」というもので、最高の肉質
を産み出すブリーディングの1つだと
言われている。井川鳩舎の考えでは、「長
距離系」08PB05710、「オール
ラウンド」グイン・シビル、「ス
ピード系」SPMレジオナルキング、
10s」とカテゴライズし、この三種の
筋肉をミックス。結果、彼の思惑である
「肉質の良さ」は、使翔者の白井鳩舎曰
く、見事に表出されていたようだ。

「このトリはとにかく軽い。しかも地
区Nは耐久戦だったので、帰って
きた時、毛並みがピシツとしていた上、
元気に飛び回っていました。疲れない
筋肉なのか、とにかくバイタリティー
がすごかったです。」

地区Nの帰還後の状態、そして成績
を含めて2つのAPへの期待が高まる
ことは、いわずもがな、であろう。白井
鳩舎は、当初ナチュラル兼全鳩勝負で
いこうとしていたが、経験則からGP
をオス、桜花賞をメスと戦力を分散。こ

の判断が古とでたのは前述の結果
——2連続の連盟制覇からみて明らか
だ。

しかし桜花賞の最終調整は、白井鳩
舎が行ったのではない。持ち寄りの約
10日前、仕事中に重機の下敷きになり、
そのまま緊急手術。足切断の重傷を負っ
てしまったのだ。不幸中の幸いか、意識
まで失うことなく、術後すぐに職場
の仲間であり鳩友である石田正充鳩舎
(東愛知)に鳩の管理を頼んだという。

「桜花賞は正直あきらめていました
が、石田さんや白井さん、吉田さんなど
たくさんの方の諸先輩たちから「やった方が
いい」と言われまして、参加することに
しました。そうしたら、期待のトリが総
合優勝、しかも目標だったKBDDB会
長賞と日本AP賞にまで選出されると
いう最高の結果が生まれました。井川
さんをはじめ、みなさんに感謝です。」

「エースピジョン王国」復活の物語は、
愛知静岡連盟の総力をもって実現した
ものなのかもしれない。
白井鳩舎は現在も入院中だ。しかし
この度の成果を受け、鳩レースへのモチ
ベーションを取り戻し、今秋に向けて
ご子息がかわりに調教に励んでいる
という。

「退院したらまずは鳩の様子の子チェック
ですよ。」

笑顔で本取材は締めくくられたが、
この「日本AP賞全国1位」という新た
な朗報が、白井鳩舎に大きな希望を与
えてくれることを期待してやまない。

りゅう
“溜号”

21LK00721 BC ♂ 岡澤豊次鳩舎作翔

22年春千葉東連盟Rg 4,870羽中総合50位

入賞率:0.01027

千葉東連盟地区N3,748羽中総合112位

入賞率:0.02988

千葉東連盟桜花賞 814羽中総合10位

入賞率:0.01229



21LK00721 岡澤豊次鳩舎
(千葉東連盟・北総連合会)

合計入賞率 | 0.05244



* 令和4年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟1位

- B18-6230130 B アンドレ・ロードホフ作
直仔/21年ジャパンカップ総合8位
- B05-6381295
ラストレーヌ優勝、ブルジュ2位、シャトロー6位
プロア9位、モンリュソン10位他入賞多数
- スーパーカップル(*B90-6471217×B89-6366758)の直系
B12-6142022 ディルク・ファンダイク作
“デン・パンゲ”(*アントワーブ連盟AP賞2位/“カニバル”曾孫)×
“ランボー”重近親(*“カニバル”の孫×“ディカプリオ”の娘)
- “純号”19LK14516 BC 岡澤豊次作翔
20年千翔会千葉日報社杯600K4,786羽中総合4位
- 18HE02798 BLKC 鱗淵広美作
全姉/“瞳号”(*18年ジャパンカップ総合優勝)
- 18AA01788 BC 及川正美作
“CH旭一号”(*浜田1216K翌日唯一羽帰リ完全優勝)×
“クインサバイバル号”(*12年下関GN南部連盟唯一羽帰リ優勝)

千葉東連盟は今年、団体として最多となる3羽の日本AP賞を輩出した。そのトップは岡澤豊次鳩舎(北総)作翔の「21LK00721」。かつ、全国2位を射止める。同鳩舎のレース歴は4年で、近隣に住む「関東三大長距離レースのスペシャリスト」、柳田雅幸鳩舎(北総)に師事をし、昨年はその一峰——JCで総合シングルに入賞した、まさに新鋭だ。全国デビューへと導いた「21LK00721」は、そのJC総合8位鳩の異母兄弟である。共通の親——父の「B18-6230130」は、アントワーブの皇帝の異

和洋折衷で作られた
日本ナンバークイーン!

名を誇るアンドレ・ロードホフ作。同氏のスーパーカップルの直系にしてそのオス「B90-6471217」の「直仔×孫」に「カニバル」、「デン・ブルジュ」、「ディカプリオ」を経由したファンダイクの源鳩「ランボー」の重近親鳩とをクロスして作られた「旬」の銘血ブリーダーだ。今回の全国1位、そして「会長賞全国1位」鳩を5羽輩出するなど後者におけるAP率の高さはいわずもがなである一方、前者のスーパーカップルからは昨年、中国プロック連盟において28年ぶりに日本AP賞が誕生したことは記憶に新しい。異なる近親の組み合わせで作られた父方の血は、その実績からAPファクトリーといったところか。

対して母親は、「純号」という自身の優勝鳩にして総合4位鳩。18年のJC総合優勝鳩「瞳号」の全弟(*100007系、光風系など)に浜田1216Kの優勝鳩「CH旭二号」(*末広系)とGN1200K連盟唯一羽帰リ総合優勝「クインサバイバル」(*系)と国産の銘系のミックスである。うち「クインサバイバル」の血は、今年の全四国連盟GNで唯一羽帰りで総合優勝していることを追記しておこう。

「21LK00721」自身は、体型が父親、目の色は母親から遺伝していると岡澤鳩舎は判断。和洋折衷で生み出されたレーサーが、日本ナンバークイーンを射止めた。



“スピードシャンテリー-BCW号”

21MM00605 BCW ♀ 及川 茂鳩舎作翔

22年春東京中連盟Rg 884羽中総合5位 入賞率:0.00566

東京中連盟地区N381羽中総合3位 入賞率:0.00787

東京中連盟桜花賞 68羽中総合3位 入賞率:0.04412



21MM00605 及川 茂鳩舎
(東京中連盟・新日本連合会)

合計入賞率 | 0.05765



- * 令和4年度ベルギー-王立愛鳩家協会会長賞連盟1位、会長賞
- “ヤンセンシャンテリー-85号” 18MM02685 BCW 及川 茂作
- “ヤンセンキング号” B08-6383272 BC ヤンセン兄弟作
- “エッグシャンテリー号” 13MM00019 BCW 及川作翔
- 13年秋東京中連盟Rg400K総合6位他
- ゴールデンカップル(*“シャンテリースプリンター号”×“シャンテリーホープ号”)の孫
- “スピードシャンテリー-99号” 13MM00799 B 及川 茂作翔
- 14年日本AP賞全国9位、飛翔会CH800K総合5位他
- 全兄弟/“スピードシャンテリー-57号”(14年日本AP賞全国5位)
- “スピードシャンテリー-55号” 09MM0055 B 及川作翔
- 09年秋SC100K総合優勝、200K総合2位
- 父/“シャンテリー-シルバー号”×“スプリンター号”
- “シャンテリー-127号” 10MM02127 S 及川作
- “シャンテリー-No1号”×“プリンセスインパニス”
- 全兄弟の娘/“シャンテリースプリント号”
- (17年日本AP賞全国1位&KBDB会長賞全国優勝)

現在、全国1位の3羽を含めて「日本AP賞」の最多受賞を誇る及川茂鳩舎(新日本)。22年、日本鳩レース界ナンバーワンの「AP男」から、3年ぶりにゼネラリストが誕生した。同鳩舎にとって22羽目となる受賞鳩「21MM00605」は、規程3レースの全てでベスト5入り！日本AP賞史上10羽該当しているか否かという神がかりな翔歴を収め、堂々全国3位に選出された上、「会長賞」、「KBDB会長賞」の受賞も決めている。

AP男の最新作は
ベスト5 3回の神鳩！

協会APの三冠を成し遂げた「21MM00605」は、前述の史上最多を実現させたAPファクトリーこと「及川シャンテリー系」がバックボーンだ。配合は、4代にわたる黄金交配のミックスで、かつ母親の「スピードシャンテリー99号」は14年に日本AP賞の全国9位鳩。同賞においておそらく3羽もないであろう「親子2代連続の快挙のおまけつきである。配合式は完全なインブリードで、及川シャンテリー系における初代「ゴールデンカップル」「シャンテリースルバー号」×「シャンテリー」の曾孫「ジャンテリー」の母「B87-6337256」の曾孫×孫「×ズプリンター号」(*フーベン父子の「ヨングアーツィスト」の孫×曾孫)の三重近親。そして、母方父母は日本AP賞とKBDB会長賞の頂点を射止めた神鳩「ジャンテリースプリント号」を産み出した黄金交配の3代目だ。うちメス——「プリンセスインパニス」の父親にあたる「デン・アス」の全兄弟「プリンス」の血は昨年、秋元儀一鳩舎(大千葉)の下で日本AP賞の受賞鳩を生み出しており、2年連続の成果である。

果たして然るべき銘血で作られた「AP男」の最新作「21MM00605」。ここに日本鳩レース界に新たな「神鳩」が誕生した！

“サタデー・ナイト・フィーバー”

21YA00904 BC ♂ 石井節生鳩舎作翔

22年春東九州連盟Rg 1,049羽中総合46位 入賞率:0.04385

東九州連盟地区N 669羽中総合6位 入賞率:0.00897

酒田GN東九州連盟170羽中 優勝 入賞率:0.00588



21YA00904 石井節生鳩舎
(東九州連盟・ちくぜん連合会)

合計入賞率 | 0.05870



* 令和4年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞全国優勝

- 20-058950 BLKC チャンピオントレード・ロフト作
“ダンス・イン・ザ・ダーク” DC テオ・ベルベン作翔
13年ダックスN4位、16年ポルドーN10位他
- 19KA07181 DC チャンピオントレード・ロフト作
“ズワルトゴウド”の4重近親
“パコ”(*15年ポーN6位/“クィーン・オブ・ザ・ナイト”異母兄)×
上記クィーン・オブ・ザ・ナイト”(16年ポーN優勝)
- 19YB07006 BW 中川和美作翔 500K
- 12YB05507 RC 中川・かもり共同作 ヤンセン系
02年地区N総合優勝×ヤンセン作 直仔/300K優勝
- 16YB08288 B 中川作翔 シルバーエクセレントP
地区N総合7位、GP1000K13日目帰り、GN1026K11日目帰り
父/上記12YB05507の全兄弟×12年協会賞
孫/22年九州ブロック連盟酒田GN総合5位
同系/22年九州ブロック連盟酒田GN総合優勝、2位、6位、
7位、9位

九州鳩界では初となるKBDB
会長賞の全国優勝を射止め、地元
大金字塔を打ち立てた「21YA00
904」。レース歴2年の石井節生
鳩舎(ちくぜん)が作翔したこの「ザ
ファースト」は、東九州連盟で初
となる日本AP賞の受賞までも果
たす。しかも九州ブロック連盟でみ
ると、95年のジューファイトロフト(福
岡)の全国4位に並ぶ快挙だ。
“九州の伝説”となったこの1羽
は、GN狙いの石井鳩舎が惚れ込ん
だ2羽——「パコ」と「16YB082

KBDB会長賞の二冠!
九州の伝説「パコ」に誕生!

88」の血を組み合わせたものだ。
前者(*パコ)は、ポーのN6位を
収めたCHで、イエレマにバルセロ
ナ6年連続Nベストテン入賞という
規格外の翔歴をもたらした「ズワ
ルトゴウド」の血が脈打つ。そしてニ
コ・フォルケンスの黄金交配「10
0×10」も絡んでおり、この2筋
の融合で「ロメイ(*15年オリンピ
アード超長距離部門世界1位)」が作
られたのは余りに有名だ。

これに対して後者の「16YB08
288」は、九州のトップレースマ
ンである中川和美鳩舎(福岡)の作翔
鳩でシルバーエクセレントピジョン
の認定を勝ち取った中距離CH。し
かし後日とはいえGPとGNから帰
還しており、実態はゼネラリストと
いったところであろう。なお石井鳩
舎が注目したのもこの1000K2
回の翔歴だったようだ。またこのト
リの大元である中川鳩舎の黄金交
配「95YA02552×97Y114
21」は、今年のGNで総合3位を
取めた本受賞鳩「21YB00904」
を含め、なんと7羽のベストテン鳩
を輩出。九州全土に大きな衝撃を与
えたことを追記しておこう。

他にもダンス・イン・ザ・ダーク、
“パコ”の半兄弟であるクィーン・
オブ・ザ・ナイトといった長距離
のスーパーCHの血が流れている。
欧州と九州の最高血統のコラボが、
新時代を作り上げたようだ。



210B26289 BC ♂ 平野耕二鳩舎作翔
 22年春宮城連盟Rg 2,477羽中総合59位
 入賞率:0.02382
 宮城連盟地区N1,724羽中総合41位
 入賞率:0.02378
 宮城連盟桜花賞 305羽中総合5位
 入賞率:0.01639

平野耕二氏(右)と浅野和夫氏(左)。



210B26289 平野耕二鳩舎
 (宮城連盟・宮城連合会)

合計入賞率 | **0.06399**



***令和4年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟2位**

- 170B18443 BW 平野耕二作出 浅野和夫 使翔 500K
- 12OL01143 BW 平野作
- 山本雅嗣作(*山本今西系)×下記NL99-1272495の孫
- 15OL15627 B 平野作
- NL99-1272495(*"ベアトリクスカイパー"の父×孫)の孫
- 190B25612 BC 浅野和夫作翔 400K優勝
- 妹/500K優勝 直仔/菊花賞500K21位、400K51位
- 180B05881 DC 渡辺義弘作
- "ロレンソ" NL02-2234904 BC イエレマ作翔
- 05年サンパンサンN5位 NL88-4210664(*源鳩)の直系
- NL12-3249041 BCW ヤン・ヘルマンズ作
- "スーパーマーティ" (ベルジュラックNPO、モンデマルサンN各優勝/デハイデ系)の直仔×
- コール・デハイデ作(*"クランパー"重近親)
- "G846" 14OL16846 BC 浅野作翔 200K、400K
- 700K20位(*上記NL99-1272495の直仔)×800K

東北最大の会員数と参加数を誇る北の鳩レース王国「宮城」は、今年2羽の日本A.P賞の候補を送り込んできた。うち平野耕二鳩舎(宮城)作翔の「210B26289」が受賞、全国5位に選出された。

同鳩舎の鳩歴はなんと65年で、「光風系」の形成者・相川定久氏とも交流のあった大ベテランだ。とはいえ優勝経験は皆無の愛鳩家な上、00年初頭から住環境の関係で自身で飛ばすことを辞め、作出専門にチェンジ。現在は、50年来の鳩友・浅野和夫氏(宮城)が選手鳩舎や

**シニアコンビが作り出した
北の鳩王国発のスーパーA.P.!**

種鳩を提供、なおかつ管理まで担当することでビジョンスポーツを満喫している。

今回の受賞鳩は、まさにその関係性を象徴するような1羽だ。配合は浅野氏の源鳩であり、カイパー兄弟作の「NL99-1272495(*ベアトリクスカイパー)の父×孫」の三重近親となっており、うちその孫にして受賞鳩にとつては母方祖母となる「G846」は現在における彼らの基礎鳩のようだ。なおこのカイパー兄弟の基礎カップルの血は、19年に「210B26289」と同じくインブリードで日本A.P賞の全国1位を生み出している。

また母方祖父には、コール・デハイデの源鳩「グランパー」の血が、内山勝博鳩舎(遠州)所有の「スーパーマーティ」などを經由して流れている他、イエレマの「真の源鳩」NL88-4210664(*ファンブリアーナ系)やズワルトゴウドとの配合で代表鳩の「ザファイア」や「オリオン」、そして最高傑作の「ロメイ」と「グラインゼイデ」を誕生させた「ド・スタントマン」の血が絡んでおり、その点も注目したいところだ。そして在来系ファンにはたまらないであろう、なんと8分の1が山本今西系! 78歳の平野氏と82歳の浅野氏が作り出した鳩王国のニュースターは、まさしく夢に溢れた1羽であった。



21KA04381 BC ♀ 石川建一鳩舎作翔

22年春埼玉連盟Rg 7,433羽中総合183位

入賞率:0.02462

埼玉連盟地区N 5,849羽中総合238位

入賞率:0.04069

埼玉連盟桜花賞 1,495羽中総合13位

入賞率:0.00870



21KA04381 石川建一鳩舎
(埼玉連盟・埼玉北葛連合会)

合計入賞率 | **0.07401**



*** 令和4年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟3位**

- 14KA13101 BC 外山芳和作
全兄弟の直仔/16年埼玉連盟地区N総合優勝
- "メイアー" B04-4429256 BW レビースト作
"フィーネケ5000"全弟の孫
- 08KA31508 BCW 外山作 "ド・618"の娘
- 19KA36388 BC 石川建一作
- 08KA36737 B 鈴木隆作
直仔/シルバーエクスセレントビジョン 2羽
- "スーパーAP" 07KA44262 鈴木作翔
連合会最優秀鳩 "スプリングストーム"の孫
- "エースビジョントリプル" 02KA42280 鈴木作翔
総理大臣賞南関東地区3位、埼玉連盟AP賞1位 他
- 孫/ナショナルウィナー(*09年埼玉連盟地区N総合優勝)
- 上記/ナショナルウィナーの孫/18年東日本CH総合優勝
- "ジャパンクイーン" 08KA34763 BC 石川作翔
09年ジャパンカップ総合優勝 源鳩「79AP6619」の直系

「日本AP賞」の規程をクリアしていったところか。

石川鳩舎自身も地区N終了時点で「日本AP賞」の規程をクリアしていったところか。09年にJCを制したことで一躍その名声が全国区となった石川建一鳩舎(埼玉北葛)は、現在一代目である。ご子息の剛氏が継承した後、主に中距離レースで実績を重ねていったが、今回桜花賞も対象となる日本AP賞で受賞を果たした。国内トップの参加鳩舎と参加羽数を誇る埼玉連盟において唯一の規程をクリアしたのは「21KA04381」の1羽だけであったが、ベストテン入りを外さないところは、さすが「鳩レース王国」といったところか。

**実践系統だけで作られた
鳩レース王国の申し子**

ることに気づいていたため、意識こそしていた。しかし春の200Kの時に涙目だったこのトリが、東日本CHで自鳩舎唯一の帰還鳩となり、しかも併催の桜花賞で1%以内に入賞できるとは…。親子共々想像していなかったようだ。

全国6位に選出された「21KA04381」は、父親が外山芳和鳩舎(埼玉川)の作出鳩で、剛氏にとって鳩レースの先輩にあたる関根英次鳩舎(埼玉吉川)の下で16年に地区N総合優勝鳩を産み出した勝ち筋である。

一方の母鳩は、自鳩舎の源鳩(*ファンネの代表鳩「ムッシュ」号)重近親の直仔)の血を紡ぐ前述のJC王者「ジャパンクイーン」の娘だ。石川鳩舎の「天看板」でありながら、種血として翔歴にふさわしいCHが生まれることなくここまで月日が流れてしまったようだ。今回は、大仕事を成し遂げたような形である。

なお覚醒を手伝ったのは、こちらも二代目にとって大先輩にあたる鈴木降鳩舎(埼玉北葛)の作出鳩で、18年の東日本CH総合優勝を産み出した源鳩2羽のミックス——「エースビジョントリプル」×「スプリングストーム」の孫。直仔にシルバーエクスセレントビジョンの認定鳩を2羽誕生させた実績高きブリーダーだった。

両親ともに埼玉連盟で洗練されてきた勝ち筋であり、受賞鳩の「21KA04381」はまさしく鳩レース王国埼玉の「申し子」であった。



21HA06814 BC ♀ 高島 茂鳩舎作翔
 22年春茨城連盟Rg 4,865羽中総合109位
 入賞率:0.02240
 茨城連盟地区N4,002羽中総合157位
 入賞率:0.03923
 東日本稚内GN茨城連盟634羽中19位
 入賞率:0.02997



21HA06814 高島 茂鳩舎
 (茨城連盟・茨城北連合会)

合計入賞率 | **0.09160**



**病に打ち克ち
 手にしたレース鳩の最高賞!**

高島 茂鳩舎(茨城北)の種鳩は、99%松浦邦彦鳩舎(茨城西)作である。J.C総合優勝2回、東日本稚内GN総合優勝——と関東三大長距離レースで絶大な成果を挙げてきた必勝筋から、今回「レース鳩の最高賞」である日本AP賞が誕生したということか。

松浦鳩舎の飛び筋の太元は、国内外のスーパージンだけ形成された「ニュー」文字系がベースとあって、この成果は然るべきといえは然るべきだろう。ところが、全国7位に選

- 19HA13601 BC 松浦邦彦作
- 15HB04392 BC 松浦作
 「ド・モントーバン」(*07年モントーバンN優勝)の直仔
 異母兄弟の直仔/19年茨城連盟GP総合4位
- 16HS06307 BCW 栗原明則作
 「ドル・バルセロナ」(*12年バルセロナN優勝)全妹の娘
- 20HA10317 B 松浦邦彦作
- B14-6175112 B ヨス・フェルカメン作
- 「ボロ」B06-6270152 B フェルカメン作
 直仔/09年ブルジュン(II)最高分速 他
- B11-2206928 BC フェルカメン・ランブル共同作
 「ボレーケワッテンジュニオール」(*オリンピック超長距離部門1位)の娘
- 14HS12959 B 栗原明則作 純デボス系
 「ジダン」(*カルカゾンN優勝)の直仔×
 「リバウド」(プリムインターパレス2位&3位)の娘
 異父兄弟/13HS01198(*14年東日本稚内GN総合4位)
 上記13HS01198の直仔/19年東日本稚内GN総合7・8位

ばれた「21HA06814」の場合、E&デヴォオスの「ジダン」、フェルカメンの「ボロ」、デブクワ兄弟の「ボレーケワッテンジュニオール」、全兄弟とはいえず「ドル・バルセロナ」といったビッグネームが名を連ねているものの、一文字ロフトがダイレクトに絡んでいるのは、父方祖父に絡んでいる「ド・モントーバン」くらいだ。残り8分の7は自身のセレクト、あるいは鳩友であり先輩の栗原明則鳩舎(霞ヶ浦経由の旬なヨーロッパの銘血バード)となっている。とはいえ、松浦鳩舎においてGNの総合シングル鳩を3羽輩出した「B04・3237691(*E&デヴォオスの「リバウド」の娘)」の血が流れており、「松浦ドリム」系の本筋であることに変わりはない。配合は完全に自由恋愛で1羽孵して生まれたようだ。

受賞鳩の「21HA06814」は、実はGP直前に「トリコモナス」が発症し、途中降板している。GN前の調整には合流させていたものの、舎外の飛びは悪し…。戦力外とするかしないか、ギリギリまで悩んだ末の投入だったという。高島鳩舎はこのトリを父親似とみているようだが、GNは血統だと言われていることから母方祖母の因子——松浦鳩舎の本筋が覚醒へと導いたのかもしれない。



21LK03587 BC ♂ 伊藤春男鳩舎作翔

22年春千葉東連盟Rg 4,870羽中総合181位

入賞率:0.03717

千葉東連盟地区N3,748羽中総合8位

入賞率:0.00213

千葉東連盟桜花賞 814羽中総合64位

入賞率:0.07862



21LK03587 伊藤春男鳩舎 (千葉東連盟・東総連合会)

合計入賞率 | 0.11792



**期待以上の大仕事！
自鳩舎から日本の「エース」へ**

全国8位には千葉東連盟の2番手——伊藤春男鳩舎(東総)作翔の「21LK03587」が選出された。

受賞鳩は前年秋の連盟三冠レースで1位を獲得した同鳩舎における「エース」で、春も規程3レース以外でGP連盟10位。そして日本AP賞まで受賞し、期待通り、いやそれ以上の成果を残している。

このトリは、長年親交のある宮下博鳩舎から指定交配として導入したという「レインマンII」(※12年サンバンサンZLU優勝の全弟/ヴィットバイク)の近親)×B12

- 18LK06439 BC 伊藤春男作
 - 「福太郎」B10-9013384 B 宮下 博作
 - 直仔/13年千翔会千葉TV杯600K総合優勝他
 - 「ミッシェル」B00-9129555 B
 - ファンエルエッケン 作翔 宮下 博代表種鳩
 - 02年モントーバンN28位 カルトース、スツテケルボード系
 - B07-9047493 B ダニー・レツルコ作
 - カルトースの「ド・リモージュ」直系
 - 直仔/14年埼玉連盟地区N700K総合優勝
 - 16HB12517 BC プリモロフト作 直仔/JC総合16位
 - 「ベアトリクスカイパー」近親×「スーパーベン」近親
- 16LK06168 (17年生まれ) BC 伊藤春男作
- 全兄弟の直仔/17年リブルヌN2位
- 「レインマンII」B12-3159548 BC DBSチームベルギー作
- 純ガビー・ファンテナベール系 「ヴィットバイク」の近親
- 全兄/12年サンバンサンZLU優勝
- B12-9014375 BC 宮下博作 上記「ミッシェル」の孫

9014375」の孫鳩だ。受賞鳩の母方祖父母にあたるこのカッブルからは17年のリブルヌN2位鳩が生まれている他、伊藤鳩舎の下でもCHを量産。ゴールデンペアを担っている。

一方、「21LK03587」を配合式で見ると、前述の黄金交配のメス「B12・9014375」に流れる宮下鳩舎のベルギーにおける基礎鳩「ミッシェル」のインブリード。ちなみにこの銘種鳩は14年に小沢幸夫鳩舎(埼玉吉川)において地区N総合優勝鳩を生み出している。また近親交配でも「孫×曾孫」…。伊藤鳩舎が意識したかしないかは別として、ピジョンスポーツ版「奇跡の血量交配」で作られているのだ。

他にも宮下鳩舎の代表種鳩だった父方祖父「福太郎」を介してカルトースの「ド・リモージュ」、今回桜花賞まで距離を伸ばすことができたと伊藤鳩舎が勝因と捉える同祖母のプリモロフト作——を経由して、日本AP賞を多数輩出しているロベール・ベンの「スーパーベン」、そして今回の全国5位と10位に流れるカイパー兄弟の「ベアトリクスカイパー」と、世界的APの因子が搭載されている。

流れる血、そして配合パターンからして、「21LK03587」のAPとしての覚醒は、然るべきかもしれない。



“チャンティサヤカ79”

21LK04079 BC ♂ 古西正二鳩舎作翔

22年春茨城連盟Rg 4,865羽中総合243位 入賞率:0.04995

茨城連盟地区N4,002羽中総合24位 入賞率:0.00600

茨城連盟桜花賞 977羽中総合61位 入賞率:0.06244



21LK04079 古西正二鳩舎
(茨城連盟・鹿島連合会)

合計入賞率 | 0.11839



***令和4年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟3位**

- “チャンティ”NL12-1076881 BC C&G・コープマン 作直仔/千葉東連盟300K総合優勝、菊花賞連盟優勝
- 孫/茨城連盟200K総合優勝 曾孫/宮城連盟Rg総合優勝
- “ゴールデンティルク”NL04-1389690 BC C&G・コープマン 作
- “クライネ・ディルク”×
- 母の“ゴールデンレディ”(*カニパール”娘)
- “ローラ”NL05-1936623 B C&G・コープマン 作
- “デンリンス・ファボリー”(*アプリスNPO優勝)×
- “アンネリーズ”(*“クライネ・ディルク”全妹)
- “サヤカ”18LK06866 BCW 古西正二作翔
- 18年秋千葉東連盟Rg総合優勝・千翔会総合優勝
- “タイガ797”14LK00797 B 古西正二作
- 12年秋千葉東連盟菊花賞連盟優勝”トップレディ”の直仔
- “ゴールデンブラザー09”16LK00209 B 古西作翔
- 千葉東連盟Rg総合3位 “ゴールデンJR”×ベルクモース 作直仔/22年茨城連盟Rg総合優勝

18年、当時所属していた千葉東連盟において日本AP賞をはじめ、「日本優秀鳩舎賞」、「全日本ゼネラルCH賞」で全国2位に輝き、衝撃的な全国デビューを果たした古西正二鳩舎。22年、同鳩舎は茨城連盟の鹿島連合会で再出発し、その1シーズン目で再び「レース鳩の最高賞」を射止めるスーパーレーサーを誕生させた。

全国9位に選出された「21LK04079」は、前述の全国2位「スー

再出発1シーズン目で
スーパーレーサー誕生!

パーガール」とダイレクトなつながりはないものの、共通してコープマンの代表鳩「クライネ・ディルク」(*若鳩ワールドCH5位)の血が流れている。その母親にして基礎鳩である「ゴールデンレディ」(*カニパール×「ランボー」の姉)からすれば、受賞鳩はインブリードであり、近親度合いは4重といったところだ。うち3重となる父親「チャンティ」は、直仔、孫、曾孫と代々総合優勝鳩を輩出し、今回新たに日本AP賞が追加。種、かつ血としての実績からまさしく源鳩だ。

秋のRgを制し、全国で最高分速をマークした母親も代々総合優勝を生み出している勝ち筋であり、また母方祖父母に流れるマルセリスの「ドンケレ18」(*3年連続AP賞1位)と「ズプリント」(*オリンピックA1短距離部門代表)からは、17年に日本AP賞全国1位とKBDB会長賞全国優勝のダブルが誕生している。

前述の「ゴールデンレディ」の父「カニパール」におけるAP輩出率の高さはいわずもがなであり、「21LK04079」も正しく覚醒したといったところか。古西鳩舎、2羽目のゼネラリストもブラッドスポーツの体現者だった。

21LK10982 B ♂ 新井 繁鳩作 スイカレーシング使翔

22年春千葉東連盟Rg 4,870羽中総合169位 入賞率:0.03470

千葉東連盟地区N3,748羽中総合118位 入賞率:0.03148

千葉東連盟桜花賞 814羽中総合49位 入賞率:0.06020



鶴岡英男氏(左)と篠原照民氏(右)。



**21LK10982 スイカレーシング
(千葉東連盟・成田連合会)**

合計入賞率 | **0.12638**



- ▶ “白鶴203号”16KA22203 B 新井 繁作
直仔/埼玉ブロック連盟GP総合10位・中地区優勝他
- ▶ “白鶴376号”07KA09376 B 奥住・新井共同作
- ▶ “白鶴247号”01KA34247 B 新井 作翔
- ▶ 地区N優勝・中地区2位 “白鶴GN”×“白鶴天塩”
全兄弟の娘/04年日本AP賞全国1位&総理大臣賞全国優勝
- ▶ “プリモ956号”04ZA09956 プリモロフト 作翔
- ▶ 05年千葉東連盟桜花賞総合優勝
- ▶ “ベアトリクススカイパー”直仔×“フィーネケ5000”娘
- ▶ 10HS05697 B 竹井芳明 作
- ▶ 直仔/ゴールドエクセレントビジョン認定
- ▶ 13KA27442 BC 田中文雄 作翔 ジャパンカップ4位
- ▶ 直仔/東日本CH総合19位・桜花賞総合4位
- ▶ 07KA28903 B 田中 作翔
- ▶ 08年東日本CH総合36位・桜花賞総合9位(*当日) 白鶴系
- ▶ 08KA10402 BC 田中 作
- ▶ 白鶴系×“ロマーリオ”、“ボウデンダイブ”各孫

千葉東連盟3羽目の日本AP賞は、スイカレーシング(成田)の「21LK10982」だ。同ロフトは分有鳩舎でビジョンスポーツを楽しんでいた2人——前・日本鳩レーシング協会会長の鶴岡英男氏とその親戚にあたる篠原照民氏がタッグを組み、令和元年に結成。なお登録名は、篠原氏の生業が千葉県の名産「富里スイカ」の生産者であることがその由来となっている。

これまで個々で全国タイトル受賞の経験はあるものの、「スイカレーシング」としては初だ。記念すべき

**伏兵がもたらした
全国区2人の初タイトル**

協会タイトル第一弾というわけだが、作出者は彼ら2人ではない。鶴岡氏の鳩友にして、日本優秀鳩賞7回の強豪、新井繁鳩舎埼玉北辰である。ゆえに受賞鳩「21LK10982」は同鳩舎の代名詞「白鶴系」のインブリードだ。かつ04年に史上初となる日本AP賞全国1位と総理大臣賞全国優勝のダブル受賞を果たした「GHエースタイン」号を産み出した「ゴールデンペア」×「白鶴GN」×「白鶴天塩」の血が、白鶴系近代基礎鳩「白鶴247号」を介して流れている。

「白鶴系」は、さまざま異血との融和で進化してきた飛び筋とあって、受賞鳩を紐解いていくと、超銘鳩と言われるそれが多数絡んでいる。中でも「白鶴247号」の相方「プリモ956号」に流れるフェルホルトの「ブイーネケ5000」、カイパー兄弟の「ベアトリクススカイパー」からは数々の日本AP賞——後者にいたっては今年だけで3羽輩出。一方、総合優勝という面では、母方祖母「08KA10402」の母親の三佳ロフト作の同腹が白鶴系との融合で12年にGPを制している。

受賞鳩自身は、スイカレーシングの2人にとって目立つようなトリでなく、必ず帰ってきているな、というくらい印象だったとの由。完全に伏兵による成果だったというわけだが、流れる血液は日本屈指の銘系であった。